



度会町議会 だより

- 広報委員
- 委員長 長谷川多一
 - 副委員長 大西徹
 - 委員 舟瀬勝
 - 若宮淳也
 - 貞森義和
 - 大野原徳



令和3年 第4回定例会 令和3年12月7日～20日

○この度の定例議会では、本年度事業の精査により、予算措置が必要なものを計上するとともに基金への積み立て等にくわえ、新型コロナウイルス感染症対策予算の追加補正等により、約2億7,600万円が上程され、一般会計予算合計 約45億8,500万円を議決いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策予算の概要

今回、国の給付決定に伴い、次の2種類の臨時特別交付金の給付が上程され、議決いたしました。

●子育て世帯への臨時特別給付金事業費
1億913万円(1,075名分見込額)
詳しくは、

役場 保健こども課
☎0596-62-2413
までおたずねください。

●住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費
8,390万円(815世帯分見込額)
詳しくは、

役場 長寿福祉課
☎0596-62-1186
までおたずねください。

★これらの情報は、ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.town.watarai.lg.jp>



★新型コロナウイルス(オミクロン株)のまん延が懸念されていることから、議員も引き続き、定例会の度に自主検査を行っております。

町民の皆様も感染防止に留意していただきますようお願いいたします。



抗原検査風景



マース用車両の見学風景

オンデマンド医療実証実験が実施されました

1台で多用途に使える車両を活用してオンライン診療や健康相談を行う次世代移動サービス「M AAS(マース)」の実証実験が行われ、注連指・脇出・柳・川口地区の住民の皆様にも体験していただきました。

将来的には、スーパーシティ構想の一環として実際の活用も視野に検討されており、地域医療の課題解決に大きな期待が来そうです。

議会 Q & A



全国の町村議会でも女性議員数が少ないことが問題となつていきます。女性がいない議会では、視点に偏りがちです。子育てなど、暮らしの細かな経験がないと政策にほころびが出る。とことが問題となっています。

Q そこで問題です。

三重県の町議会でも女性議員のいない議会は何議会あるでしょうか？

- A 5議会
- B 3議会
- C 1議会



A 答えは3議会のBです。

大台町、南伊勢町、度会町の3議会です。
残念なことに当町も含まれます。
次回、令和5年の議会議員選挙には、ぜひ女性の方の立候補を期待します。

町民の皆さんの様々な質問にお答えしますので、お気軽にご連絡ください。

【問合先】議会事務局 ☎62-1113

一般質問

貞森 義和 議員



○町長の公約が、どの程度進捗しているか
訊ねる

- ・0歳児から2歳児の保育料を無料に
- ・女子児童、生徒への生理用品無料配布はどうなっているか
- ・児童保育は、以前から小学校4年生までとなっているが、延長はされないのか
- ・障がい者、寝たきりの人に「オムツ券」は配布しているのか。タクシー券は配布しているのか
- ・一人住まいの高齢者にどのような支援を行っているか
- ・会計年度任用職員の賃金改善は進んでいるか

町長答弁

- ・保育の無償化については、令和元年10月から3歳以上を対象に実施しており、給食費の主食費を全額、副食費を2分の1の負担軽減を行っています。
- ・女子児童、生徒への生理用品無料配布については行っておりません。
- ・児童保育の受入学年にしましては、来年度は5年生まで拡充します。
- ・「オムツ券」配布につきましては、支援として月額12,000円を上限とした給付をしており、要介護者の方に対しては月額5,000円の介護用品給付券を配布しております。タクシー券については配布しておりませんが、社会福祉協議会が運営する福祉有償運送を利用していただいております。



- ・一人住まいの高齢者への支援については緊急通報装置を貸出し、また栄養改善を目的とした配食サービスを社会福祉協議会に委託しております。
- ・会計年度任用職員の報酬は、他市町と比較しても著しく高くも、低くもないことから、現時点で見直す予定はありません。

舟瀬 勝 議員



○町営住宅(清風住宅)の建て替え、改善の考えは

前回の答弁では、令和3年度に計画を策定し、建て替え、改善に向けた取り組みを行うとのことでしたが、高齢者の増加、住宅困窮者に住居の確保、施設等への入所を考えると共に早期実現を望む。

町長答弁

現在、策定中の「度会町公営住宅等長寿命化計画」では、建て替えることを前提に策定予定でございますが、時期や戸数につきましては財源、補助事業また、建設付近のまちづくりを配慮したうえで慎重に検討してまいります。

○度会中学新一年生の自転車通学生徒の補助について

中学入学時、自転車通学は自転車、雨具等の購入で保護者の負担が大きいため、補助を望む。

教育長答弁

自転車で通学する生徒は現在、59人おり、来年度入学予定者で見ますと20人となっております。自転車通学者のヘルメットについて1人あたり3,000円を補助し、現物支給しております。また、事故発生に備え、全生徒に町予算で45,

540円を負担し、個人責任補償保険に加入しております。

ご質問にありました、保護者に対する補助は、通学以外に自転車を活用する生徒も多く、通学環境を整備していくという観点で全体を見たときに、さらなる自転車通学の生徒のみを対象とした補助は現在のところ考えておりません。



全ての児童が安心安全に通学するための環境を整えていくことは引き続き取り組んでいくべき課題であり、学校や保護者、地域の皆様と協力して取り組んでいきたいと考えております。

若宮 淳也 議員



○自治区、自治会からの

要望の実現について

自治区、自治会からは様々な要望がありますが何年も実現されない要望もあります。自治区、自治会にとって優先順位の高い要望は早期対応、実現の体制を整備すべきです。

小さな公共事業も含め、地域の様々なニーズが寄せられるなか自治区、自治会が独自で判断し実行できるような支援拡充をしてはと考えます。例えば、補助の条例を変更し支援拡充ができないかと考えます。また、補助金で自治区、自治会が実施する事業を補助していますが、補助率の引き上げはできないかと考えます。

町長答弁

町の対応ですが、まず担当部署に要望内容の検証と現場確認を行います。その結果、早急に対応が必要な場合は最優先で対応しております。それ以外は優先順位を考慮し、国の補助や起債を活用

しながら要望が実現できるよう進めているところ

です。補助率の引き上げについては、74%の財源を国県に依存していますので大胆な支出はできませんが、辛いところに手が届くような補助制度を模索していききたいと考えております。

○度会町の子どもの学力の現状と定着・向上について

学力テストの状況も踏まえて、現在の子どもの学力の状況をどのように受けとめ、分析されているのか。また、引き続きコロナが社会に影響を及ぼすのか、それとも収束に向かうのか不透明の中で、子どもたちの学力の定着や向上をどう図っていくのか。

教育長答弁

小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した、全国学力・学習状況調査結果をみますと、中学校の国語、小学校の算数については大きく上回っておりますが、中学校数学については、課題がみられました。また、「勉強は好きですか」「授業はわかりますか」という問いや「学習計画」「学習時間」に関する質問に対しても中学校では、やや課題がみられます。

このような結果から、勉強が好き、授業がわかるということや、ご家庭での学習習慣が、学力向上において「非常に重要な要素のひとつ」であると分析しております。

今後、新型コロナウイルスの影響が不透明な状況ではありますが、第6波が到来することを鑑み、全学年で機器の習熟や持ち帰り学習を行い、学びを止めないという目標を持って、子どもたちの学力の充実を進めてまいります。

